



YAO CITY

ボランティアだより

発行：八尾市社会福祉協議会・八尾市ボランティア連絡会



ヤッピーです♪



社協ホームページ

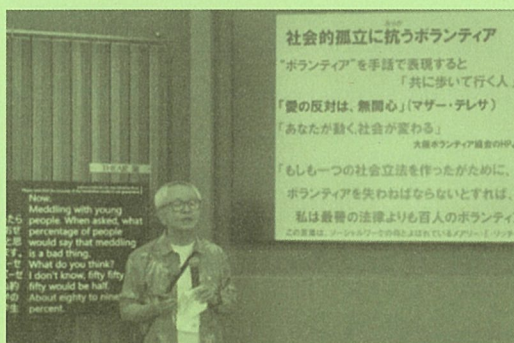


YAO_SYAKYO

Instagram

EXPO 2025 大阪・関西万博の 共創チャレンジにボランティアグループ “手話サークル みどり”が参加しました！

令和7年7月24日（木）大阪・関西万博チャライフヴィレッジ内 TEAM EXPO パビリオンにて、共創チャレンジ「ちょこっとボラ活してみませんか？」が開催されました。



▲新崎氏による講演

当日は、ステージ発表と交流スペースが出展されました。ステージ発表では、ふくしと教育の実践研究所 SOLA主宰の新崎国広氏、大阪府内のボランティア連絡会の方による、「ちょこっとボラ活してみませんか？」をテーマにした講演が行われました。



◀来場者との交流の様子

交流スペースでは、来場者の方との交流を通してボランティアの魅力を発信することを目指して大阪府内からボランティアグループ8団体が参加されました。

八尾市は、手話サークルみどりから11名参加されました。ボランティアは、子どもから大人まで多数来場された方と「こんにちは」や「ありがとう」等コミュニケーションや指文字一覧を使用して交流し手話ボランティアの魅力を発信されました。

当日ご協力いただきました手話サークルみどりの皆様ありがとうございました。



▲手話サークルみどりの集合写真



ボッチャ大会

6月28日(土)障がい者スポーツのつどい実行委員会主催の、第20回 障がい者スポーツのつどい、ボッチャ大会が八尾市立総合体育館で開催されました。

年齢も様々、全部で21チームの参加がありました。優勝が近づくと、ほんの少しの間ですが、静けさが辺りをつつみ会場にいる多くの人の目が、一



◀大会の様子

球一球に注がれていました。和気あいあいの中にも真剣勝負の雰囲気もあり楽しかったです。

ボランティアの皆さんがどんな働きをされていたのか、少しだけですが紹介したいと思います。

審判の方は試合の進行役も兼ねていたので投げる順番を間違えたりしないのかなぁ～と思ってみていました。試合ごとに点数を書いてボードに貼紙をしたり、トーナメント表にどのチームが勝ったのか赤の線を引いたり、試合が終われば次の試合の準備にと忙しく働いておられました。

今年初めてボランティアに参加された人が、「ドキドキして見ていられない」とおっしゃっていました。皆さん喜んで、生き生きとしている様子を見て、こちらも励まされました。

こども漫画食堂

めるもん



6月29日(日)、今日は子ども漫画食堂めるもの月1回の開催日でした。『ぐるんぱ恩智』がお休みの日に、その一角をお借りして活動されています。

「めるもん」は古民家で、近くには天王の杜があり、坂道を登っていくと恩智神社という、静かな住宅街にあります。「めるもん」とは代表の方が以前飼われていた犬の名前に由来します。ほっこりしますね。ここでは調理を含むスタッフ4名と、学生ボランティアで活動されています。

2階の一室には、6000冊余りの漫画がズラリと並んでいました。すべて私物だそうです。なぜ、漫画でしょうか？活字離れした子ども達に漫画を通して、文字の大切さを知ってもらいたいというスタッフの思いがあります。漫画ソムリエも登場します。ぴったりの本が見つかると思います。是非、聞いてみてください。

1年前の食堂スタート時は月替わりのカレーライスでした。特に肉団子カレーが大好評だったそうです。本日は親子丼をいただきました。

常時、15人ほどの参加ですが、懐かしいクラスメートと再会して親交が深まったり、地域、学年を超えての付き合いが生まれ、良いコミュニティが築かれています。室内遊びでは、退屈しないよう子どもたちとどう過ごしていくかと模索されながら活動されています。

一度、「めるもん」をのぞいてみませんか？子育て中のお母さんも一安心できることでしょう。きっと居場所が見つかります。

開催日：毎月第4日曜日
時 間：11:00～13:00
場 所：八尾市恩智中町2丁目213
(ぐるんぱ恩智内)
・こども：無料 ・18歳以上：100円

令和7年7月1日(火)
講師：筒井美和子氏
介護付き有料老人ホーム
花咲にて

ぬりえのボランティア



▲みなさんのステキな作品

10名程の利用者さんがアイリス、カトレアや桃、ぶどうなどの季節の花や果物から好きな絵を選び色を塗っていきます。先生から「果物の色を塗る順は実る順ですよ」「影は濃くしてね」「上手に塗れましたね」などの声掛けを受け「こんなに綺麗にできるとは!」、「脳が運動して楽しい」、



▲作成中の様子

「教えて貰うと絵がきりっとする」と皆さん大変喜ばれ、世界に一つしかない作品をお部屋に飾られるそうです。

塗り絵をする妻の姿に目を細め見守る夫。先生の助手をする絵の得意な方や最後の片付けを手伝う方々の中、70代の先生は「助けられながらやってます」と話され、そして長年かけて集められた1000本以上の大切な色鉛筆を「日本の礎を築いた方々にいきいき楽しみ、気晴らしに使って貰える様に」と棚に置き「私もここに来るのを楽しみにしています」と颯爽と帰って行かれました。その場のみんなが笑い、お喋りし、和やかでとても素敵な時間でした。

ボランティアの声(57)

親と子のいんた～ねっと YAO ホームページ▼

親と子のいんた～ねっと YAO



平成8年2月、子育て支援・母親支援を目的に発足しました。子育て中の親たちが「もっと地域に根ざしたい。地域に点在するこどもたちや大人たちが線になって、線が輪になってつながったら、もっと地域がおもしろくなるかもしれない」という想いで、子育て情報誌「やんや情報」を28年間、無料発行してきました。「やんや情報」は、令和6年秋127号以降休刊中ですが、大人もこどもも楽しめるイベントや講座、座談会などは、ホームページでお知らせしています。

8月24日(日)には青少年センターにて『やんやん縁日』を開催し、うちわ作りや輪投げなどの遊びや「YAOふる・パワー」のステージで楽しく盛り上がりました!

11月23日(日)久宝寺緑地でのPLAYDAYにも参加予定です。

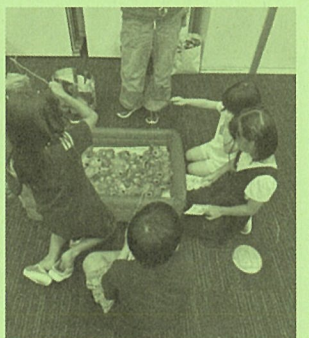
他にも、平成22年からつどいの広場「おそらに(旧お空に)」を運営中。ハンドベルのチーム「チャレンベル」はイベント等で演奏しています。

これからもいろんな所で、みなさんと繋がれることを楽しみにしています。



みんな笑顔で記念写真☆

「さかなつり」
上手に釣れたかな?



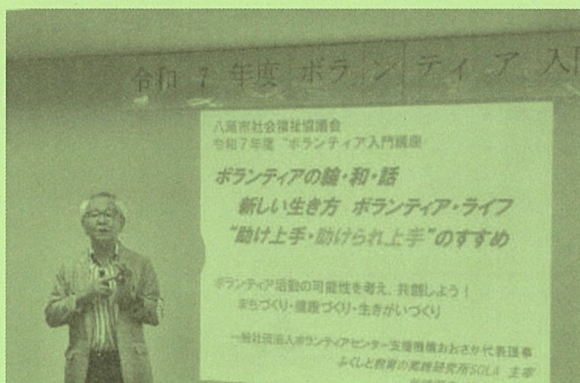
ボランティア入門講座

8月13日(水) ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰の新崎国広氏による「ボランティア入門講座」が開催されました。今年は民生委員児童委員、地区福祉委員会、すでにボランティアをしている人、これからボランティアをしたい人等、総勢 60 名が集まりました。1 テーブル 6 人で、グループワークをしました。自己紹介に加え、今やっている活動、自分自身が幸せを感じる事を発表しました。近所のお掃除やお花を植える方、民謡で高齢者を元気にするボランティアをされてる方のお話を聞きました。お勤めも一段落し、これから何かボランティアを始めたいと参加された方は、興味津々で話を聞き、メモを取っておられました。

90 歳を過ぎても誰かの役に立ちたい思いがあれば、ボランティアに参画できます。資格は必要ありません。共通するのは元気なこと、そして謙虚なこと。今年のボランティア体験プログラムは 27 の団体があり、気軽にボランティア体験ができます。ボランティアをすることは相手のためだけでなく、自分の生きがいにもつながります。「人は必要とされることを必要とする」という言葉がとても印象的でした。



▲グループワークでの様子



◀新崎氏による講演

< ボランティアセンターからお知らせ >



NEW グループ紹介

“マジック楽々会”がプラットフォームに登録されました。グループからのメッセージです。

老若男女問わず不思議な夢を追う
楽しさいっぱいのグループです。

<お問い合わせ>

八尾市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒581-0003

八尾市本町2-4-10 八尾市立社会福祉会館

TEL: 072-925-1045

FAX: 072-925-1161

メール: syakyoyao@mfh.biglobe.ne.jp

ふれあいフェスタ

日時: 令和7年10月12日(日) 10:00~15:30

場所: 八尾市立社会福祉会館

内容: 八尾市のボランティアグループによる活動

発表や、体験イベント開催! 参加無料

傾聴ボランティア講座

11月7日(金)~12月5日(金)までの5日間

※詳しくはホームページをご確認下さい。

相手の話を聴き心に寄り添うコミュニケーション方法を学びます。新しい自分を見つけて活動しませんか。

発行: 八尾市社会福祉協議会・八尾市ボランティア連絡会

編集委員: 館邦夫、藤後聡子、伊東朋子、西尾裕子、上東百合子

八木妙子、山田忍、出口真理子、岡田千津代、武内良樹